

翻訳にあたってのヒント

その 73

「～してはどうだろう」「～についてどう思う」「～するのはいかが」を英語で表現する場合の注意点

この自分の提案に対して相手の反応を問う表現として対応する英語としては、「How about ...?」「What do you think about ...?」「What do you say to ...?」あたりが相当する。

しかし、これらを英語にする場合には、about や to のあとに目的格の名詞や名詞句が来るという決まり事がある。特に to は不定詞ではなく前置詞なので、その後には名詞か名詞句がこなければならぬ。「How about ...?」の場合、例えば「How about I taking that one?」という文章は文法的に間違った文であり、その場合はこの法則にのっとって目的格である me と動名詞である taking を一緒にした構文にして「How about me taking that one?」と書かなければならぬ。この文は「How about my taking that one?」と、me を所有格、taking を意味上の主語とした場合には、文法的には正しい文となるが、文語的な言い方であると言われる。また「What do you say ...?」が「What say ...?」と略されて表現されることもある。

◆ 豆知識：

「今何時ですか？ (Do you have the time?)」が、英語では "How goes the enemy?" や "What says the enemy?" とおどけた言い方で表現されることがある。19 世紀によく使われたそうであり、その嚆矢は Frederick Reynolds という劇作家の演劇「The Dramatist」(1789) と言われている。時間にだらしない人間にとって時間は敵というのがその発端だという。

以上これにて、第 73 回目完了。